

2019年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名:初期環境調査
 調査媒体:水質(ng/L)
 地方公共団体:宮城県
 調査地点:迫川二ツ屋橋(登米市)

調査対象物質	測定値	報告時 検出下限値	検出下限値
[2-1] メチル=(E)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(E)-アゾキシストロビン)	※0.67	0.55	1.1
[2-2] メチル=(Z)-2-[2-[6-(2-シアノフェノキシ)ピリミジン-4-イルオキシ]フェニル]-3-メトキシアクリラート (別名:(Z)-アゾキシストロビン)	nd	0.32	0.39
[5] シアナミド	※230	190	280
[12] 2-(1,3-チアゾール-4-イル)-1H-ベンゾイミダゾール (別名:チアベンダゾール)	nd	0.69	0.69
[18] ビリメタニル	nd	0.21	2.1

(注1)「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※:参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満ではあるが、各地点ごとの調査精度に依存する「報告時検出下限値」以上として定量的に検出された値であるため、参考として記載した。統計処理には数値としては用いていない。)